

○東徹君 ありがとうございます。是非ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、リニア中央新幹線についてお伺ひをいたします。

我が国にもたらず推定八千七百億円もの経済効果があると言われておりますリニア中央新幹線、過度な東京一極集中の是正、東西分断の回避、産業競争力の強化、これは本当に大事な成長戦略であるというふうに考えておひまして、大事な成長戦略をしっかりとやるためには、東京—大阪間の開通の方が事業の効果としても大きいし、これはインパクトがあるというふうに考えておひますが、東京—名古屋—大阪間の同時開業を目指すべきというふうに考えますが、安倍総理はどのようにお考えでしょうか。

○内閣総理大臣（安倍晋三君） 一九六四年に東京オリンピックが開催をされた際には東海道新幹線が開通をいたしまして、私も初めて「こだま」に乗ったときの感激を覚えているわけでありますが、このリニア中央新幹線は日本が誇る世界最先端の鉄道技術を用いるものでありまして、まさに夢のプロジェクトと言えらると思ひます。

具体的な工事の進め方については、建設主体として費用を自ら負担するJR東海においていろいろとお考えになっているものというふうに承知をしておりますが、政府としても、来年度税制改正案において本事業に係る税制上の優遇措置を講ずることとしております。今後、事業が着実に進むよう、できることはバックアップしていきたいと考えております。

○東徹君 東京—名古屋だけでは更に東京一極集中、ストロー現象が起こるというふうにも言われておひまして、是非とも東京—名古屋—大阪間の全線開通を目指していただきたいというふうに思ひます。

続きまして、地方交付税制度についてお伺ひいたします。

現在の地方交付税制度では、地方が自らの努力によって収入を増やす努力を行った場合、また歳出削減を行っていった場合、その分地方交付税というものが減額されるというような制度となっております、地方のやる気をそぐ制度というふうになっております。是非、地方の努力が報われるよう、地方交付税制度を改革するおつもりがあるのかどうか、どのように改革されるのか、これは新藤総務大臣にお伺ひしたいと思ひます。